

ケトプロフェン坐剤 50mg 「日新」 ケトプロフェン坐剤 75mg 「日新」

【この薬は？】

販売名	ケトプロフェン坐剤 50mg 「日新」 Ketoprofen Suppositories 50mg “NISSIN”	ケトプロフェン坐剤 75mg 「日新」 Ketoprofen Suppositories 75mg “NISSIN”
一般名	ケトプロフェン Ketoprofen	
含有量 (1個中)	50mg	75mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に電子化された添付文書が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、非ステロイド性抗炎症剤と呼ばれるグループに属する坐薬（ざやく）です。
- ・この薬は、炎症にかかわるプロスタグランジンという物質の生成をおさえ、鎮痛、消炎、解熱作用をあらわします。
- ・次の目的で処方されます。

○下記の疾患ならびに症状の鎮痛・消炎・解熱

関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、頸肩腕症候群、症候性神経痛

○外傷ならびに手術後の鎮痛・消炎

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・消化性潰瘍のある人
- ・血液に重篤な異常のある人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・心機能に重篤な障害がある人
- ・過去にケトプロフェン坐剤「日新」に含まれる成分で過敏症のあった人
- ・アスピリン喘息（非ステロイド性抗炎症剤などにより誘発される喘息発作）のある人または過去にアスピリン喘息があった人
- ・シプロフロキサシンを使用している人
- ・妊娠後期（妊娠 28 週以降）の人
- ・直腸に炎症や出血のある人、痔疾のある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・過去に消化性潰瘍のあった人
- ・非ステロイド性消炎鎮痛剤による消化性潰瘍をミソプロストールで治療している人で、この薬を長期に使用しなくてはならない人
- ・血液に異常のある人、または過去に血液に異常のあった人
- ・出血しやすい人
- ・心機能に異常のある人
- ・気管支喘息のある人
- ・潰瘍性大腸炎の人
- ・クローン病の人
- ・感染症にかかっている人
- ・腎臓に障害がある人、または過去に腎臓に障害があった人
- ・肝臓に障害がある人、または過去に肝臓に障害があった人
- ・妊婦（妊娠後期以外）または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬 [シプロフロキサシン（シプロキサン）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使用量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使用量および回数は、次のとおりです。

販売名	ケトプロフェン坐剤 50mg 「日新」	ケトプロフェン坐剤 75mg 「日新」
一回量	1 個	1 個
一日量	1 日 1～2 回	1 日 1～2 回

●どのように使用するか？

- ・この薬は肛門（こうもん）に入れる坐薬（ざやく）と呼ばれる種類の薬剤です。口から飲んだりしないでください。
- ・この薬を挿入後に便意をもよおすことがありますので、なるべく排便後に使用してください。
- ・包装から取り出し、とがった方から肛門内に深く挿入します。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に使用しないでください。気がついた時に、1回分を使用してください。ただし、次の使用する時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分使用してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は炎症症状や痛み、発熱をやわらげますが、病気そのものを完治させる薬ではありません。
- ・関節リウマチ、変形性関節症などで、この薬を長期間にわたり使用する場合は、血液や尿、肝臓の働きを定期的に検査されます。
- ・この薬の副作用として体温の下がりすぎや、虚脱、手足が冷たくなるなどの症状があらわれることがあるので、特に高熱のある小児、高齢の人や消耗性疾患の人およびその家族の方は、この薬を使った後の状態に十分注意してください。異常な症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ・定期的に腎機能検査が行われます。
- ・定期的に血液検査が行われます。
- ・妊娠後期（妊娠28週以降）の人は使用することはできません。
- ・妊婦（妊娠後期以外）または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

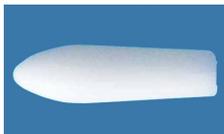
重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹（しん）、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
ネフローゼ症候群 ネフローゼしょうこうぐん	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、息苦しい、尿が赤みを帯びる、むくみ、体がだるい、体重が増える
心筋梗塞 しんきんこうそく	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷汗が出る
脳血管障害 のうけっかんしょうがい	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐(おうと)、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、ふらつき、発熱、むくみ、体がだるい、体重が増える
頭部	めまい、意識の消失、突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	顔面蒼白
口や喉	喉のかゆみ、突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	動悸、息苦しい、しめ付けられるような胸の痛み
手・足	手足が冷たくなる、突然片側の手足が動かしにくくなる
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ
尿	尿量が減る、排尿時の尿の泡立ちが強い、尿が赤みを帯びる

【この薬の形は？】

販売名	ケトプロフェン坐剤 50mg 「日新」	ケトプロフェン坐剤 75mg 「日新」
形状	紡すい形の坐剤 (ざざい) 	紡すい形の坐剤 (ざざい) 
長さ	26mm	27mm
直径	8mm	10mm
重さ	1.0g	1.5g
色	白色～淡黄色	

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ケトプロフェン坐剤 50mg 「日新」	ケトプロフェン坐剤 75mg 「日新」
有効成分	日局 ケトプロフェン	
添加剤	ハードファット、軽質無水ケイ酸	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・冷蔵庫などの光のあたらない涼しいところ（1～15℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日新製薬株式会社 (<https://www.yg-nissin.co.jp/>)

安全管理部

電話番号：023-655-2131

E-mail：d-info@yg-nissin.co.jp